

令和4年度第1回東松島市総合教育会議

日 時 令和4年8月18日（木）

午後3時から

場 所 東松島市役所 301会議室

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥 美 巖

3 議題

(1) 報告事項

- ①全国学力・学習状況調査結果及び本市の学力向上の取組について
- ②教育課程特例校制度（小学校低学年からの英語活動）について
- ③令和4年度教育関係事業について
- ④新型コロナウイルス感染者数の状況について

(2) 協議事項

- ①小中連携教育の取り組みについて
- ②デジタルメディア・コントロール チャレンジ「東松島ゴール」について
- ③学校給食費について

(3) その他

- ①矢本横穴出土（革帯一式）の市指定文化財の指定について

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

出席者名簿

| No. | 役 職 名 | 氏 名 |
|-----|-----------------------|---------|
| 1 | 市 長 | 渥 美 巖 |
| 2 | 教 育 長 | 志小田 美 弘 |
| 3 | 教 育 委 員 (教育長職務代理者) | 木 村 和 彦 |
| 4 | 教 育 委 員 | 福 田 ゆかり |
| 5 | 教 育 委 員 | 鹿 野 あい子 |
| 6 | 教 育 委 員 | 松 岡 勝 久 |

【教育委員会部局】

| No. | 役 職 名 | 氏 名 |
|-----|-------------|---------|
| 1 | 教育部長 | 小 山 哲 哉 |
| 2 | 学校教育管理監 | 村 岡 太 |
| 3 | 教育総務課長 | 樋 熊 利 将 |
| 4 | 生涯学習課長 | 五ノ井 勝 浩 |
| 5 | 教育総務課指導主事 | 尾 形 知 明 |
| 6 | 教育総務課指導主事 | 前 田 尊 央 |
| 7 | 学校教育指導員 | 青 山 博 之 |
| 8 | 教育総務課長補佐 | 千 葉 純 一 |
| 9 | 学校給食センター所長 | 阿 部 智 浩 |
| 10 | 教育総務課教育総務係長 | 片 岡 真紀子 |

【市長部局】

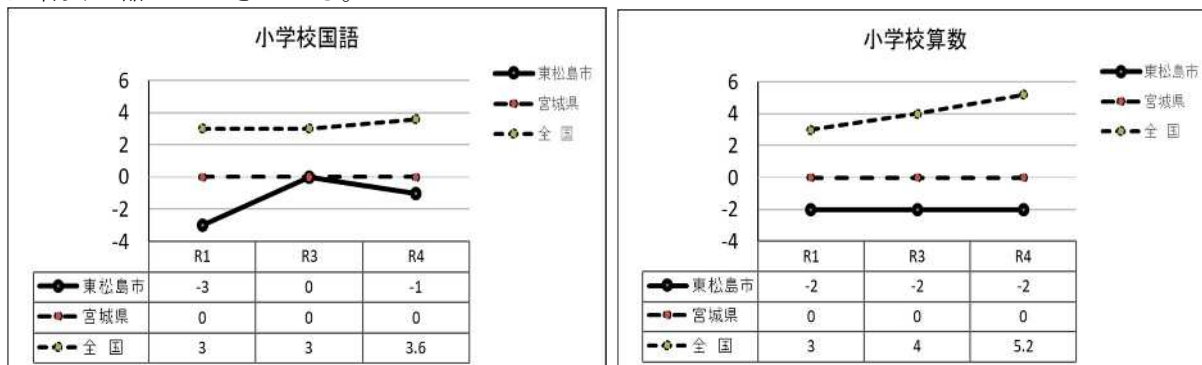
| No. | 役 職 名 | 氏 名 |
|-----|-----------|---------|
| 1 | 副市長 | 小 山 修 |
| 2 | 総務部長 | 高 橋 義 則 |
| 3 | 総務課長 | 勝 又 啓 普 |
| 4 | 総務課長補佐 | 高 野 裕 行 |
| 5 | 総務課秘書広報係長 | 柴 田 やす子 |

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果及び本市の学力向上の取組について

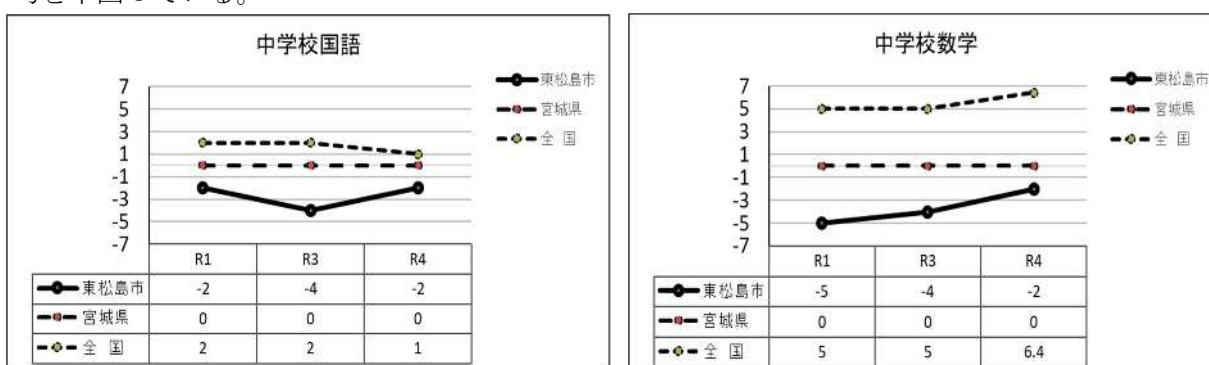
1 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

(1) 全国学力調査から

①小学校国語科においては、県平均に僅かに届いてはいないが、ほぼ同等の正答率となっており、過去3年を遡って比較すると改善傾向にあることがうかがえる。また、算数科、理科においては県平均正答率を若干下回っているものの、昨年12月に実施した標準学力調査の全国平均と比較するとその差は着実に縮まってきている。

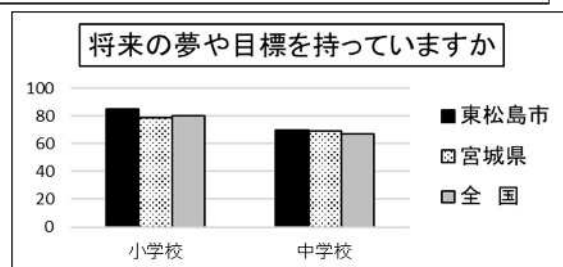


②中学校においては、国語科、数学科共に県平均には届いていないが、前回の平均正答率と比較すると、その差は半減しており、12月に実施した標準学力調査との比較でも改善傾向にあることがうかがえる。全国的に正答率が低い結果となった理科については、実験の機会が減ったことなどからやや県平均を下回っている。

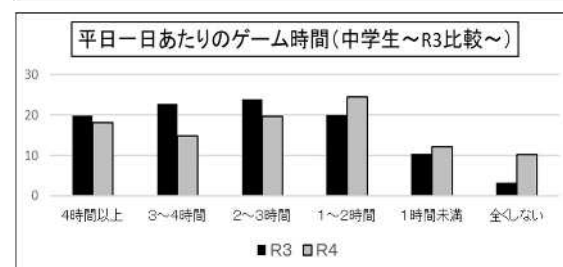
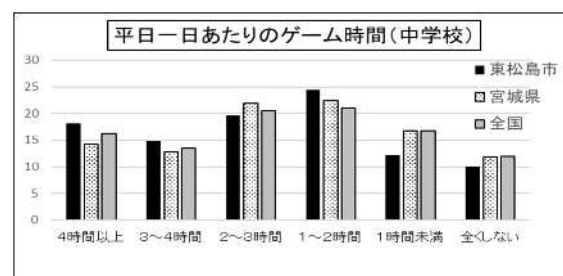


(2) 全国学習状況調査から

①「自分にはよい所があると思うか」という自己肯定感を問う設問に関しては、宮城県及び全国と比較すると低い状況にあるが、前年度比較では、小学校2ポイント、中学校で1ポイント高い値を示した。また、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は、県及び全国にくらべ3～7ポイント高い値を示し、本市の推進する「魅力ある学校づくり」の2本柱である「学力保障」「成長保障」のうちの特に「成長保障」の取組が、児童生徒の日常により影響を与えていることがうかがえる。



②県の平均よりも高い傾向が続いているスマートフォン・ゲーム等デジタルメディアの使用時間の長時間化については、平日2時間以上使用している生徒の割合が、66%から53%へと昨年度よりも約13ポイント減少するとともに、平日に自主的に1時間以上学習する生徒の割合が1ポイント上昇するなど、改善に向かっている。今後、でめこん(デジタルメディアコントロールチャレンジ)「東松島ゴール」の取組が定着していくことで、本市の児童生徒の課題となっている家庭での過ごし方が、改善の方向に向かうことが期待できる。



2 令和4年度 東松島市における児童生徒の学力向上に向けた取組の具体

(1) 「学力保障の R-PDCA サイクル」(5 か月プラン・7 か月プラン)

- ・学力向上に向け「学力保障の R-PDCA サイクル」として1年を2期(12月～4月、5月～11月)に分け、標準学力調査(4月・12月実施)の結果から、児童生徒一人一人の学力の分析と支援策を検討し、「個別支援シート」を活用した個別支援や補充の時間を設定し、学力向上を図る。

(2) 授業づくりに向けた研修の充実(「協同的な学びの充実研修会」「授業づくり研修会」)

① 「協同的な学びの充実研修会」について

- ・児童生徒が相手の意見を「聴き合い」、自分の考えを深めたり、協同による課題解決に取り組んだりする「学び合い」のある授業づくりの推進に向けて、令和3年1月から山形大学 森田 智幸 准教授に指導を受け、授業改善を図る。

- ・「協同的な学び」推進地区として矢本一中学区4校の取組を、市学力向上推進委員会で共有し、それぞれの学校の実践に生かす。

※ 「協同的な学びの充実」研修会(講師 山形大学 森田 智幸 准教授)

- ・東松島市教育委員会主催研修会 年2回開催

第1回 市内小中学校教員61名参加

日時：令和4年6月24日(金) 13:30～ 会場：矢本東小学校

第2回 日時：令和5年1月20日(金) 13:30～ 会場：矢本第一中学校

- ・中学校区ごとの研修会

矢本二中学区 日時：令和4年11月4日(金) 13:30～ 会場：赤井南小学校

鳴瀬未来中学区 日時：令和4年11月25日(金) 13:30～ 会場：宮野森小学校

② 全国学力・学習状況調査問題による「授業づくり研修会」について

- ・文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官を招聘し、算数、数学の全国学力・学習状況調査問題の活用と学習指導の改善・充実に向けた「授業づくり研修会」の実施。

※ 研修会①(「数学」授業づくり研修) 市内小中学校教員15名参加

日時：令和4年7月12日(火) 15:00～ 会場：矢本西市民センター

講師：文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官(数学) 伊吹 竜二 氏

※ 研修会②(「算数」授業づくり研修) 市内小学校教員58名参加

日時：令和4年7月14日(木) 15:00～ 会場：矢本西市民センター

講師：文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官(算数) 稲垣 悦子 氏

(3) 市町村教育委員会との連携による学校サポート事業について(市内全中学校)

- ・「数学科」の授業において、宮城県総合教育センター指導主事による、課題づくり、学習指導方法、授業実践透におけるサポート事業の実施

※授業実践日

☆矢本第一中学校 令和4年11月8日(火) ☆矢本第二中学校 令和4年11月21日(月)

☆鳴瀬未来中学校 令和4年10月5日(水)

(4) 小中連携による授業づくり研修会について

- ・各学校の授業研修会に、中学校区の教員が相互参観し、授業参観及び事後検討会に参加し、学校の枠を外して研究討議を積み重ね、児童生徒の9年間の学びの充実に向けた取組の推進。

教育課程特例校としての外国語教育（英語活動）の取組について

1 目的

- (1) 小学校第1学年及び第2学年において「英語活動」を新設し、グローバル化が進む現代社会において、他の国の人々とのコミュニケーションが必要不可欠となることから、英語を中心とした外国語に触れる機会を保障し、9年間を見通した外国語に関する連続した学びを具現化する。
- (2) 英語活動を通し、他と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

2 令和4年度実践校・・・2校

東松島市立矢本西小学校

東松島市立赤井南小学校

3 英語活動指導者

東松島市立矢本西小学校・・・外国語専科教員 佐賀 真由美 教諭 及びALT

東松島市立赤井南小学校・・・外国語専科教員 木村 明子 教諭 及びALT

4 年間授業時数

小学1年生・・・30時間

小学2年生・・・30時間

※各教科、領域の予備時数を充当する

5 活動の内容

※英語の発音や表現に慣れ親しむ活動を中心して行う。

| 1学年 | | | 2学年 | | |
|------|---------------------------------------|--|------|---------------------------------------|--|
| ユニット | 題材 | 学習内容 | ユニット | 題材 | 学習内容 |
| 1 | Hello! How are you? あいさつ(2) | ①あいさつをする。 ②ごきげんいかが? | 1 | Hello! How are you? あいさつ(2) | ①あいさつをする。 ②ごきげんいかが? |
| 2 | What's your name? 自己紹介・名前は? (3) | ①自分の名前を伝える。 ②友達に名前を尋ねる。 ③自己紹介をする。 | 2 | What's your name? 自己紹介・名前は? (3) | ①自分の名前を伝える。 ②友達に名前を尋ねる。 ③自己紹介をする。 |
| 3 | What color is it? 色であそぼう(3) | ①色の名前を知る。 ②色の言い方に親しむ。 ③色で遊ぶ。 | 3 | What number is it? 数に親しもう(4) | ①1～10の数字の言い方を知る。 ②1～10の数字を使う。 ③ジャンケンの言い方を知る。 ④好きな数について話す。 |
| 4 | What number is it? 数に親しもう(4) | ①1～10の数字の言い方を知る。 ②1～10の数字を使う。 ③ジャンケンの言い方を知る。 ④好きな数について話す。 | 4 | What color is it? 色であそぼう(3) | ①色の名前を知る。 ②色の言い方に親しむ。 ③色で遊ぶ。 |
| 5 | How's the weather? 今日の天気は?(2) | ①天気の言い方を知る。 ②季節や気温の言い方を知る。 | 5 | How's the weather? 今日の天気は?(2) | ①天気の言い方を知る。 ②季節や気温の言い方を知る。 |

6 これまでの経過と今後の予定

| 日 | 研修会等 | 内容 |
|----------|-------------------------|---|
| 4月26日（火） | 第1回外国語専科教員 連絡会・研修会 | ・今年度のカリキュラムについて ・評価について ・英語活動の進め方について |
| 6月22日（水） | 第2回外国語専科教員 連絡会・研修会 | 講話 「小学校低学年の英語活動について」 講師 前蔵王町教育委員会外国語活動指導員 高橋 和子 氏 |
| 8月～12月 | 第3～5回外国語専科教員 連絡会・研修会 | 次年度に向けたカリキュラム作成 |
| 令和5年1月 | | 次年度のカリキュラムを各学校に送付 |
| 令和5年2月 | 第6回外国語専科教員 連絡会・研修会 | 令和5年度の研修計画 |

7 その他

- (1) 本市では、今年度より市内小学生を対象に英語検定受験に係る支援および補助を行う。受験費用の一部を補助するとともに、5級合格に向け放課後等を活用した補充指導を実施する。

令和4年度教育関係事業について

1 ハード事業

- (1)赤井小学校 講堂改築事業 257,010 千円
(R4~5 年度事業 総事業費 641,600 千円)
・RC造平屋建 延べ面積 736 m²
講堂、ステージ、放送室、器具庫、更衣室、備蓄倉庫 ほか
- (2)大曲小学校 校舎改築事業(設計) 17,586 千円
(R3~4 年度設計 総額 28,410 千円)
・RC造3階建 延べ面積 約 4,100 m²
普通教室(12)、支援教室、小人数教室、特別教室、会議室、校長室、職員室 ほか
・改築工事費 約 23 億円 (工事期間 令和6~7年度)
- (3)矢本第一中学校 プール改築事業 234,410 千円
(R3~4 年度事業 総事業費 235,950 千円)
・ステンレス製(25m×16m 水深 1.1~1.3m 8コース)
更衣室、トイレ、機械室 ほか
- (4)矢本第一中学校 校庭整備事業 98,727 千円
・グラウンド整備工事 一式
暗渠排水管、排水側溝、集水ます、メッシュフェンス ほか
- (5)社会体育施設整備事業
・矢本運動公園テニスコート改修工事 200,000 千円
整備面積 2,800 m²、砂入り人工芝コート(4面)、LED ナイター照明(6基) ほか
・矢本運動公園体育館(武道館)改築工事実施設計業務委託料 9,500 千円
・奥松島運動公園多目的運動場ナイター照明設備設置工事 10,000 千円
・鷹来の森運動公園スケートボードパーク測量調査設計業務委託料 7,170 千円
整備面積 1,000 m²程度、初心者から中級者向け
- (6)新型コロナウイルス感染症対策衛生環境改善事業 18,900 千円
・校舎網戸設置工事・矢本 東小、矢本西小、赤井小、矢本一中、矢本二中
・トイレ洋式化工事(武道館)・矢本一中、矢本二中
- (7)令和3年発生福島県沖及び宮城県沖地震に伴う災害復旧事業 31,250 千円
・奥松島縄文村歴史資料館 (R3~4 年度事業 総事業費 50,202 千円)
地盤沈下による給排水設備復旧工事、床・壁亀裂復旧工事 ほか

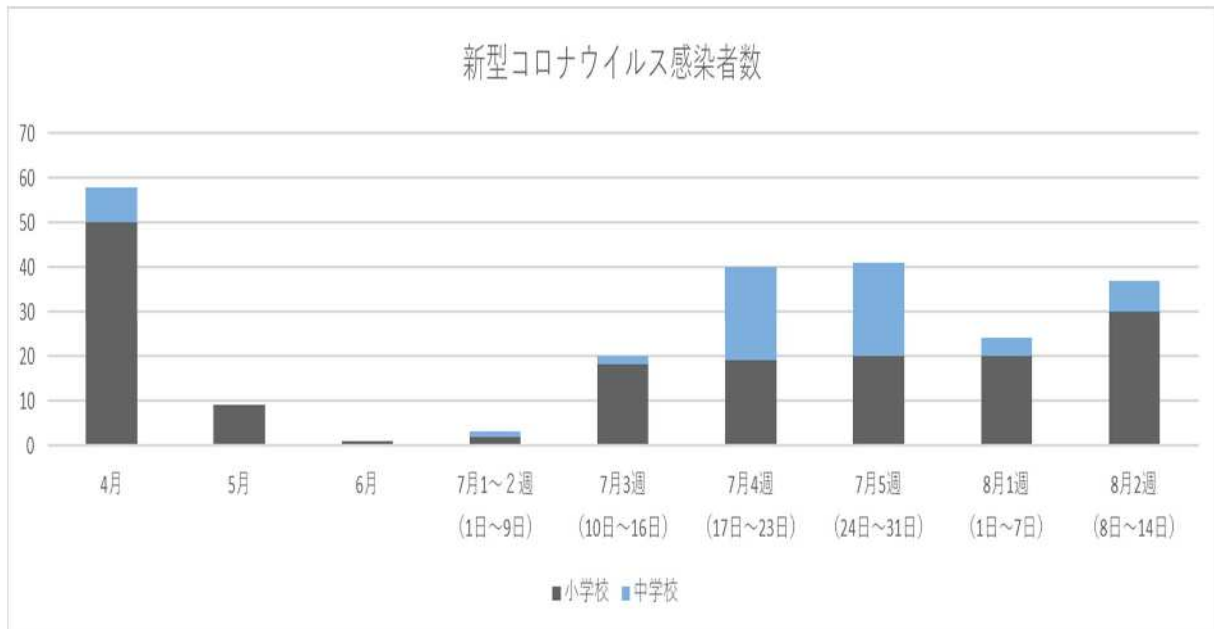
- (8)令和4年3月16日発生福島県沖地震に伴う災害復旧事業 267,343 千円
- ・学校施設・・・(内・外壁亀裂、エキスパンションジョイント破損、地盤沈下 ほか) 61,825 千円
 - ・コミセン・・・(空調吹出口破損、可動イス不良、インターロッキング破損ほか) 137,309 千円
 - ・図書館・・・(天井一部落下、照明設備、書架破損ほか) 12,452 千円
 - ・給食センター・・・(受水槽破損) 46,000 千円

2 ソフト事業

- (1)学力向上推進事業 11,309 千円
- ・学力向上推進委員会の開催。教師塾等の教員研修会の実施。
 - ・教科教育指導員を小学校担当 2 人、中学校担当 1 人配置(2 人→3 人)。
 - ・標準学力調査(4 月、12 月)実施。
小学校:国語・算数・理科／中学校:国語・数学・英語・理科
※理科・・・小 6、中 3 の 4 月のみ実施
 - ・タブレットドリルの活用。 小学校:算数／中学校:数学・英語
- (2)小中学校連携教育推進事業 283 千円
- ・子ども未来サミットの開催
 - ・校種間ギャップを見通した指導(幼保小連携・小小連携・小中連携)
 - ・先進地視察
- (3)小中学校語学指導(ALT)事業 23,100 千円
- ・英語教育、外国語活動、国際理解教育における指導 ほか
 - ・小中学校に5人配置
- (4)特別支援教育事業 43,714 千円
- ・特別支援教育支援員(28 人→30 人)の配置。(小 24 人、中 6 人)
 - ・ことばの教室への通級指導
 - ・特別支援コーディネーター等連絡協議会・研修会の開催
- (5)子どもの心のケアハウス運営事業 22,025 千円
- ・相談業務、学習支援、学校復帰に向けた適応指導 ほか
 - ・不登校相談員(3 人)の配置
 - ・学校巡回相談員(3 人)の配置
- (6)いじめ・不登校対策事業 7,149 千円
- ・スクールカウンセラーの派遣(県事業)
 - ・学校教育支援員(2 人)の配置
- (7)統合型校務支援システム導入事業 (R4事業者選定)
- ・出欠席情報、通知表、指導要録など (運用期間:R5~R9、総事業費 43,400 千円)

東松島市立小・中学校 4月～8月新型コロナウイルス 陽性者数(児童生徒+教職員)について

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月1～2週 (1日～9日) | 7月3週 (10日～16日) | 7月4週 (17日～23日) | 7月5週 (24日～31日) | 8月1週 (1日～7日) | 8月2週 (8日～14日) | 学校種別 陽性者数 |
|-----------|----|----|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------|--------------|
| 小学校 | 50 | 9 | 1 | 2 | 18 | 19 | 20 | 20 | 30 | 169 |
| 中学校 | 8 | 0 | 0 | 1 | 2 | 21 | 21 | 4 | 7 | 64 |
| 月(週)別陽性者数 | 58 | 9 | 1 | 3 | 20 | 40 | 41 | 24 | 37 | 233 |



・4月は上旬に11人、中旬に22人、下旬に25人の合計58人の陽性者が出たものの、5月は11日以降の感染報告がなく、月間の感染者は9人であった。6月は月間で1人と感染が下火になったが、7月に入ると再び増加し始め、7月の感染者数は104人、8月は2週目まで61人となっている。

・6月までに比べ7月以降は家庭内感染の割合が非常に高い。また、部活動等での感染拡大が見られたことから、これまでに比べて感染力が高いと考えられる。

小中連携教育の取組について

1 目的

本市では「ふるさと東松島市を愛し、新たな時代を志高く、心豊かな人づくり」の教育基本方針のもと、全ての児童生徒に「出番・役割・承認」を与える「魅力ある学校づくり」に取り組んでいる。

その「魅力ある学校づくり」を推進する取組として、「故郷に誇りと愛情を持ち、志高く、協働して未来を切り拓く人」という本市が目指す15歳の姿を全ての小中学校が共有し、義務教育9年間を見通した指導の充実により、小学校と中学校の校種間のハードルを下げることによって増加傾向にある不登校児童生徒の減少を大きな目標としている。

2 実践校

矢本第一中学校区（矢本第一中学校、矢本東小学校、大塩小学校、矢本西小学校）

矢本第二中学校区（矢本第二中学校、大曲小学校、赤井小学校、赤井南小学校）

鳴瀬未来中学校区（鳴瀬未来中学校、鳴瀬桜華小学校、宮野森小学校）

令和4年度は鳴瀬未来中学校区が推進モデル地区に指定

3 小中連携教育の方法

小中連携に加え、幼保小連携・小小連携を含めた校種間連携を推進する。

（児童生徒・教職員・教育課程・地域の4つの面での連携・交流を主体に、先進的な取組を推進する）

4 今年度の主な取り組み

① 児童生徒の連携・交流

- ・ノーデジタルメディア週間：中学校の定期考査等の1週間前から行われる部活動停止期間および試験期間中に合わせて、デジタルメディアの使用を控える期間を設定。学区内の小学校も同様の取り組みを行う。
- ・壮行式を小6児童が見学：中総体前に行う壮行式を6年生が参観。
- ・合同あいさつ運動：生徒会が中心となり母校の小学校を訪問し、小学生とともに朝のあいさつ運動を行う。
- ・子ども未来サミット：市内11校の児童会生徒会の代表が集まり、「東松島ゴール」の達成に向けたデジタルメディアの使用について各校の実践発表や討論を行い、より良い学校生活に寄与する。
- ・小小の交流活動：鳴瀬桜華小と宮野森小の6年生が交流。当初は宮野森小児童が桜華小を訪れ交流の予定も、感染症予防からオンラインで交流。

② 教職員の連携・交流（教育課程の連携・交流を含む）

- ・児童生徒情報交換会：前年度小6の担任や養護教諭が中学校1年生の授業を参観し、その後、進学した生徒の情報交換会を実施。
- ・「協同的な学び」研修会：矢本東小で行われた研修会（授業参観と講演）に参加。山形大学教授の森田先生に指導を仰ぎ、市全体ならびに中学校区毎に研修会を実施している。
- ・小中学校長情報交換会：月に1度、翌月の中学校区の行事等について協議確認を行う。
- ・指導主事訪問時の相互参観：異校種の授業を参観することによる授業研修。
- ・小中連携授業参観情報交換：全学年（小1～中3）の授業参観ならびに情報交換を実施。
- ・小学校の外国語の授業に中学校英語科の教員を派遣し、TT授業等を検討。

③ 地域との連携・交流

- ・学校運営協議会連絡会の実施：全小中学校で行っているコミュニティスクールの学校運営協議会を、中学校区毎に連絡会と称し小中合同で開催。
- ・合同引渡し訓練：中学校区で同一日に引渡し訓練を実施。

5 児童生徒の感想

○ 中学校の中総体壮行式を見学した大曲小6年児童の感想から

- 中学生の先輩たちが堂々としていて、引き締まった表情で、とても気合を入れて入場していたのが心に残りました。意気込みを語る場面でも、勝ちたいという気持ちで声を大きく出していました。
自分も先輩たちのような中学生になりたいです。中学校生活が楽しみになりました。



- 壮行会を見てすごいなと思ったことが二つ。一つ目は吹奏楽部です。選手が入場するときに、きれいな音で演奏していて、とても練習したのだなと思い感心しました。二つ目は、選手の皆さんの姿です。意気込みを聞いて、中総体のために毎日必死に頑張ってきたのだなと強く思いました。そして、私も中学生になったら、今の先輩たちを目指して頑張りたいと思いました。選手の皆さんが勝てますように。

デジタルメディア・コントロール チャレンジ「東松島ゴール」について

1 東松島市児童生徒（小6・中3）の生活について

（令和3年度全国学力学習状況調査の生活に関するアンケートより）

①デジタルメディアの使用時間

平日にスマホやパソコン、タブレット等を使用する時間（ゲームやSNSの使用）が3～4時間あるいは4時間以上と回答した本市6年生児童は全体の33%以上で3人に1人の割合である。県全体との比較でも4ポイントほど多い。また、中学生も同様に県平均と比べ長時間使用する生徒の割合が多い。

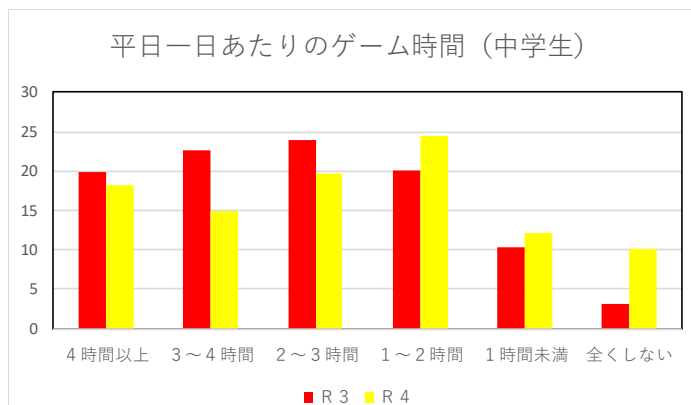
②家庭学習の時間

平日に全く家庭学習をしないと回答した本市6年生児童は全体の2%であり、県平均(3%)よりは少ない。また、1～2時間、2～3時間の家庭学習時間と回答した児童の割合が県平均を上回っている。中学生は、全くしないと回答した生徒が5.6%、30分以内と回答した生徒が7.1%であり、県平均を若干上回る結果となっている。

③読書時間の確保

市全体として、活字に触れる時間(教科書や参考書等を除く)が少ない傾向にある。小・中学生ともに3人に1人は全く読書をしていない。読書時間30分未満との回答を加えると、小学生全体の70%強が、中学生も70%近い生徒が、全く本を読んでいないか1日30分未満の読書時間である。

令和4年度の「全国学力学習状況調査の生活に関するアンケート」の結果について昨年度と比較すると、中3生徒の平日一日あたりのゲーム時間が2～3時間、3～4時間、4時間以上と答えた生徒の割合が昨年度の数値に比べ減少している。また、全くゲームをしないと回答した生徒の割合が昨年度の3.2%に比べ10.1%と大幅に増加しており、各学校で取り組んでいる「デジタルメディア・コントロール・チャレンジ『東松島ゴール』」の効果が表れてきている。小学校では昨年度とほぼ同じ結果であり、今後各学校での活発な取組が期待される。また、平日の家庭学習時間では、全く勉強しない児童生徒の割合が減少し、短い時間でも毎日の家庭学習を欠かさない習慣が身についてきたと思われる。



2 小中連携事業の取り組みから

コロナ渦で実施できなかった事業があるものの、対象を縮小したり方法を変えたりしながら3中学校区でそれぞれ小中連携事業を実施している。中でも矢本一中学区では今年度、年間50を超える取り組みを予定し、定期的な校長連絡会議の実施や、中学生が母校の小学校に出向き、朝のあいさつ運動を月に一度行うなど、既に20の事業を実施している。

中学校区で上記のような様々な取組がある中で、中学校の定期考査期間中に試験勉強のためにデジタルメディアに極力触れない3中学校区共通の取組がある。試験期間中のこの中学校の取り組みに合わせ、学区内の小学校もデジタルメディアの使用をコントロールする運動を行っている。

3 東松島市ゴールについて

「子ども宣言2021」を受けた、本市の児童生徒の生活を整えるための行動目標「東松島ゴール」を市内11小中学校の代表児童生徒の参加による会議を開催し制定した。

東松島市「子ども宣言2021」

わたしたちは、このまちの子どもとして、豊かな自然や人の温かさにふれ、デジタルメディアとの関わり方を考え、健康的な生活を送るために宣言します。

〈デジタルメディア・コントロール3本柱〉

時間・健康・情報

ひ…人との交流をふかめて、デジタルメディア・コントロールしよう

(時間) が…学習やすきなこと、家族とのだんらんの時間を大切にしよう

(健康) ま…マナーを守り、個人情報を管理しよう

(情報) つ…使い方を考え、食事や睡眠をしっかりとうろう

(令和3年7月31日制定)

「東松島ゴール」

| | |
|--|---|
| <p>①平日の使用時間</p> <p>小学生全学年：1時間</p> <p>中学生全学年：1時間程度</p> | <p>②平日のメディア使用終了時刻</p> <p>小学生1～3年生：午後8時</p> <p>小学生4～6年生：午後8時30分</p> <p>中学生全学年：午後9時</p> |
| <p>③平日の就寝時刻</p> <p>小学生1～3年生：午後9時</p> <p>小学生4～6年生：午後9時30分</p> <p>中学生全学年：午後10時</p> | |

((令和4年5月17日制定)

4 デジタルメディア・コントロール チャレンジ (略称 でめこん) について

東松島ゴールの制定を機に、これまで中学校区での取組に限定されていたスマホやゲーム機、パソコン等のデジタルメディアの使用を試験勉強期間中は控えようとする運動「ノーメディア週間」に取り組んできた。これを、「デジタルメディア・コントロール チャレンジ (略称：でめこん)」として、各校の児童会生徒会を中心に全市的に年間を通して取り組んでいる。

学校ごとに取組は様々で、小学校ではがんばりカードなどを作成し1週間単位で自己評価し、保護者の点検を得てカードを担任に提出する流れの学校が多い。中学校では生徒会を中心にアンケートを実施したり、小学校と同様に自己評価カードを作成している学校があり、でめこんに対する意識は高い。

学校給食費の納付状況について

学校給食費は、本年度から市の直接徴収となり、第1期の納期が6月30日に到来し、調定件数 3,332 件、調定額 30,448,607 円に対し、収入件数 3,264 件、収入額 29,832,652 円で、**収納率は 97.98%**、未納額 615,955 円、8月8日現在でも未納となっている 68 件に対して催告書を発送しております。

※令和3年度収納率： 99.34%

※令和3年度滞納額： 322,940 円

学校給食費について

現在の学校給食費は、令和2年度に改定を行って以来、3年間据え置いており、この間、物価上昇に伴う食材費の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響による更なる物価高騰等に直面しています。

昨年度以降は、給食の基本物質である米、パン、牛乳の値上がりにより、副食であるおかずの献立や使用する食材を変更するなど様々な工夫をしています。

それでも現在は、栄養のバランスや量の低下の観点から国が示す「学校給食実施基準」を確保することが困難な状況にあり、適正な給食を提供するために現在の給食費と物価高騰に係る差額を市が負担しています。

| | | 現在の給食費 | 実提供給食費 | 差額 |
|------|-----|--------|--------|-----|
| 一食単価 | 小学校 | 275円 | 297円 | 22円 |
| | 中学校 | 335円 | 360円 | 25円 |

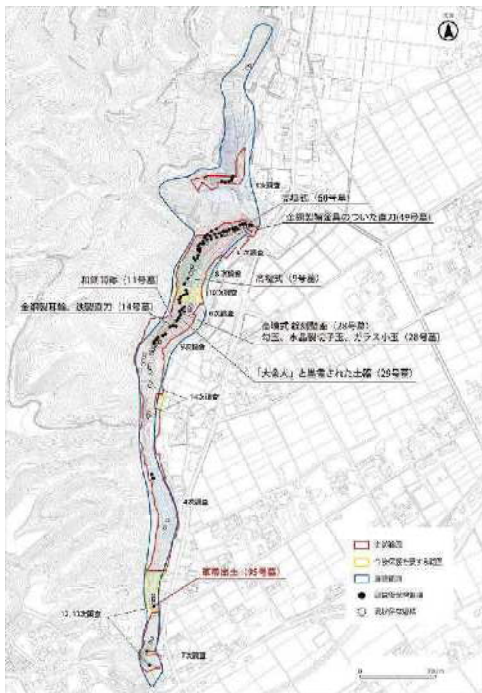
このようなことから、令和5年度から給食費の見直しが必要と考えていますが、負担軽減の観点から、保護者には差額の一部を負担していただくこととし、残りについては市費で予算措置したいと考えています。

【参考例】

| | | 現在の給食費 | 改定後の保護者が負担する額 | 実際の給食費 |
|------|-----|--------|---------------|--------|
| 一食単価 | 小学校 | 275円 | 285円 | 297円 |
| | 中学校 | 335円 | 345円 | 360円 |

市指定有形文化財

| | |
|-------|--|
| 種 別 | 有形文化財（考古資料） |
| 名 称 | 革帯 |
| 所 在 地 | 東松島市宮戸字里 81-18 |
| 所 有 者 | 東松島市教育委員会 |
| 諮問理由 | <p><指定文化財の概要></p> <p>1 概 要 革帯（矢本横穴出土） 1 式 銅製 鉸具 1 点、丸鞆 8（表裏 16）点、巡方 8（表裏 8）点、 円形金具 2（表裏 3）点、鉈尾 1 点</p> <p>東日本大震災後の治山工事に伴う平成 26 年度の矢本横穴第 95 号墓の調査で、6 体分の人骨とともに出土したものである。直刀や馬具、鉄鏃などと一緒に副葬され、出土した土器や人骨の年代からみて、7 世紀後半から 8 世紀前半頃のものとして推定される。</p> <p>革帯は、朝廷から位階を受けた官人が儀式などで正装するときには腰につける革製の帯である。検出された際は、ちぎれて分断された状態で見つかったが、帯 1 本分の銜帯金具（鉸具、丸鞆、巡方、円形金具、鉈尾）が揃って、しかも一部革（ウシ革）が付いた状態で出土した。</p> <p>「養老律令」の衣服令では、五位以上の貴族・官人の銜帯は金銀装、六位以下の官人は烏油という銅に黒漆を塗ったものを付けることが定められている。出土した巡方の幅は概ね 1 寸 1 分（約 3.3cm）で、従七位に相当するものとみられるが、金具を覆う塗膜は顔料を含まない「生漆」であったことが明らかとなった。律令に示された規定と実態を知る上でも貴重な資料である。</p> <p>2 所有と管理 所有は東松島市教育委員会。保存処理を行い、エアタイト構造の収蔵・展示ケースに収納し、温湿度管理が可能な奥松島縄文村歴史資料館の新収蔵庫で収蔵管理している。</p> <p><評 価></p> <p>銜帯金具は古代の役所や周辺の遺跡から出土することもあるが、数は少なくほとんどの場合 1 点～数点程度である。帯一本分がまとまって出土することは極めて稀で、県内では栗原市鳥谷ヶ崎古墳群に 1 例あるのみである。革の部分が残存し、全容が推定できるものは発掘資料では例はなく、現存するものとしては正倉院宝物に数例あるだけの貴重な資料である。分析の結果、帯の材質や構造、縫製方法なども明らかになっており、律令の規定と実態を知る上でも意義深く、また丸子・道嶋氏との関わりや赤井官衙遺跡群と都とのつながりを示す重要な資料である。</p> |
| 参考資料 | 宮城県東松島市教育委員会・宮城県東部地方振興事務所 2015 「矢本横穴墓群―第 12 次・13 次調査―」『東松島市文化財報告書』第 11 集 |



矢本横穴全体図と出土位置

矢本横穴出土の革帯

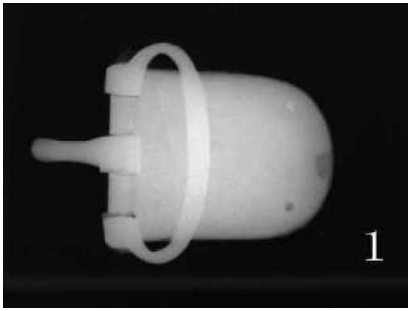
東日本大震災後の治山工事に伴う平成26年度の矢本横穴第95号墓の調査で、6体分の人骨とともに出土したものである。直刀や馬具、鉄鏃などと一緒に副葬され、出土した土器や人骨の年代からみて、7世紀後半から8世紀前半頃のものと推定されます。

革帯は、朝廷から位階を受けた官人が儀式などで正装するときに腰につける革製の帯です。検出された際には、ちぎれて分断された状態で見つかりましたが、帯1本分の銜帯金具（鉸具、丸柄、巡方、円形金具、鉈尾）が揃って、しかも一部革（**牛革**）付きの状態出土しました。

「養老律令」の衣服令では、五位以上の貴族・官人の銜帯は金銀装、六位以下の官人は**烏油**という銅に黒漆を塗ったものを付けることが定められています。出土した巡方の幅は概ね1寸1分（約3.3cm）で、従七位に相当するものとみられますが、分析の結果、金具を覆う塗膜は顔料を含まない「**生漆**」であったことが明らかになりました。



矢本横穴出土革帯（保存処理後）



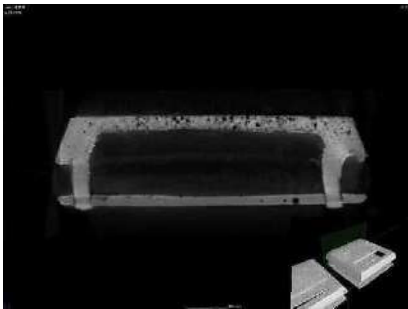
鉸具 X線透過撮影像



表金具



裏金具



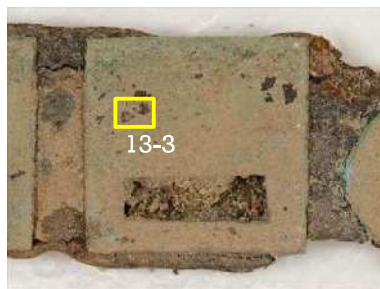
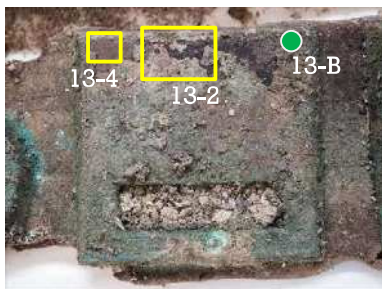
巡方4 CT断面 ⇒ 鋳造品



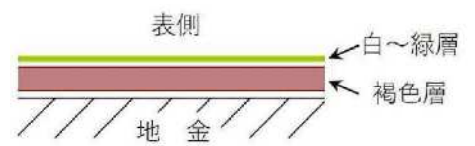
表金具



裏金具



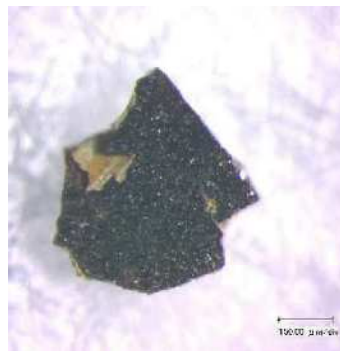
帯金具表面の微小部観察 (巡方3)



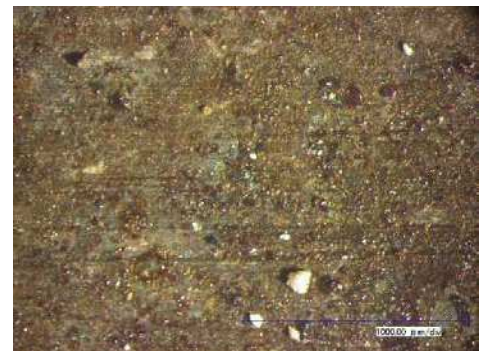
帯金具断面模式図



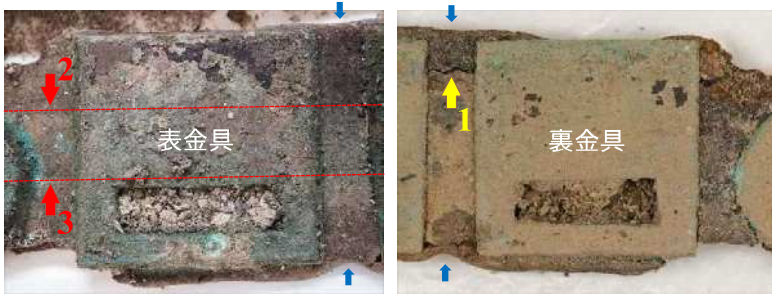
白・緑色薄膜(13-2)
*13-3も同様



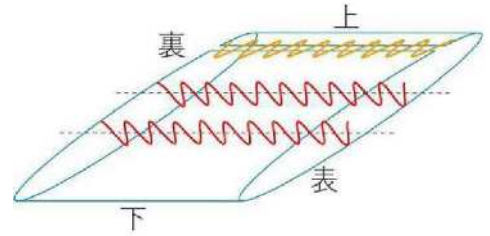
褐色薄膜(13-B)
赤外分光分析(IR) ⇒ 生漆



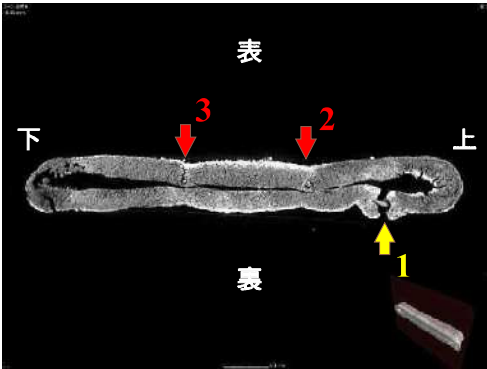
地金表面の筋状加工(13-4)
⇒ 焼付漆の痕跡?



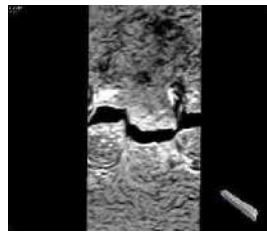
革帯の縫製方法（巡方3-4間）



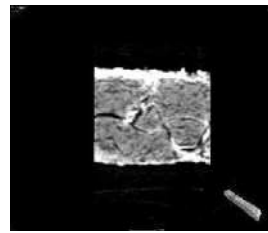
革帯構造の模式図



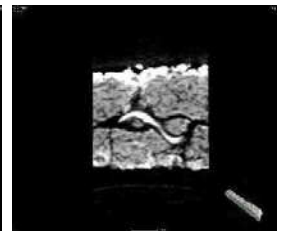
革帯CT断面（矢印：縫製箇所）



縫製箇所 1



縫製箇所断面 2



縫製箇所断面 3



表金具



裏金具

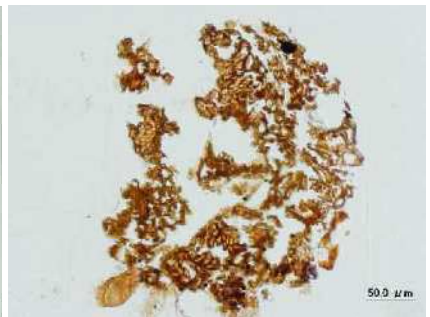
革帯片と糸（巡方2）



縫製の痕跡を残す革帯片



実体顕微鏡による微小部観察像



生物顕微鏡による透過観察像

縫製に使われたみられる絹糸

レプリカ作成



三次元データ



出力品 (左:鉸具、右:丸軛・巡方)



彩色作業 (下地塗装)



彩色作業

レプリカ作成



彩色完了



出土品 (保存処理後)

復元模造品製作（帯金具の作成）



鋳型

鋳込み作業

鋳込み完了



帯金具の整形

帯金具の整形完了

- 帯金具地金の科学分析に基づき、銅で製作した。
- X線CTによる断面観察から丸鞆・巡方は鋳造で製作し、鉸具・鉞尾・円形金具は鍛造で製作した。
- 出土資料に従い、丸鞆・巡方は丸鞆の1点を除き、透かし金具とした。

復元模造品製作（革の縫製・着色）



縫製完了

左から、革の裁断、内側の縫製、端の縫製

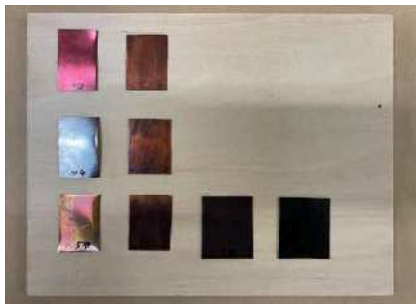


着色完了

漆の黒墨のみで拭き漆

2度目の拭き漆

復元模造品製作（金具の着色と配置）



焼付時間および生漆の塗布回数
の検討ためのサンプル



帯金具の表面に観察された褐色薄膜は赤外分光分析および顕微鏡観察により顔料を含まない「生漆」と推測され、地金表面には定着のためとみられる筋状の加工が認められたことから、生漆を用いて焼付漆を施し黒く仕上げた。

【表側】



【裏側】

正倉院宝物「革帯 第1号」に基づき全長を170cmとし、金具の配置は連結して見つけた4個の巡方・丸鞆および宝物を参考にした。丸鞆1点を除く巡方4点・丸鞆7点は金具に合わせて帯も透かしとした。

矢本横穴出土革帯 復元模造品

